

『ヒポクラテスの盲点』

自主上映会

in

本別

コロナワクチン

それは、

国が推奨した

“救世主”の**はず**だった

あの時「喧伝」されたことは正しかったのか？

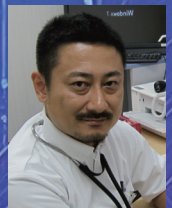
ヒポクラテスの盲点

監督・編集：大西卓 監修・編集：大西卓 児玉慎一郎（医療法人社団それいゆ会理事長）
福島雅典（京都大学名誉教授） 藤沢明徳（ほんべつ循環器内科クリニック理事長） 上島有加里 楊井人文
虻江誠 上田潤 大脇幸志郎 宜保美紀 新田剛 制作・配給：テレビマンユニオン
製作：「ヒポクラテスの盲点」製作委員会 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
2025年 / 日本 / ステレオ / 16:9 ©「ヒポクラテスの盲点」製作委員会

hippocrates-movie.jp

大手メディアが殆ど報道しない、科学と事実に基づく《驚愕》ドキュメンタリー

講演 藤沢明徳



日時

令和8年

6月14日

SUN

午前 開場 9:20 上映 10:00
上映終了次第 藤沢氏講演

午後 開場 13:30 上映 14:00
上映終了次第 藤沢氏講演

会場

本別町中央公民館

入場料

大人 1000円	学生 500円	小学生以下 無料
-------------	------------	-------------

後援：本別町・本別町教育委員会

映画『ヒポクラテスの盲点』本別町自主上映会実行委員会

ほんべつ循環器内科クリニック内

〒089-3314 北海道中川郡本別町南1丁目6番地10
TEL：0156-22-8888

Eメール honbetsu.peaceclinic@icloud.com

映画公式サイト https://hippocrates-movie.jp

これは、**遠い世界の話ではありません**

新型コロナワクチン

国が「安全で有効」と推奨し、多くの方が信じて接種したあのワクチンのことです。

コロナ禍が落ち着きを取り戻した今もなお、ワクチンによる健康被害の問題は現在進行形です。

本別町を含む全国のどこの市町村にも、ワクチン接種後に健康を損なった方、命を落とした方がいます。

心臓・循環器の異常、脳血管疾患、原因不明の倦怠感、突然の体調悪化……。

大手メディアはほとんどこの問題を報じません。

しかし、苦しんでいる人は数多くいます。

【新型コロナワクチン 副反応疑い報告（医療機関からの自発報告）】

副反応疑い総報告数

67,000件以上

2026年2月20日
厚生労働大臣会見

重篤症例

9,325件

2024年8月4日報告分
(以降の集計は困難)

死亡症例

2,314人

2025年12月31日
報告分まで

■ 映画「ヒポクラテスの盲点」について

科学と事実に基づく

《驚愕》のドキュメンタリー映画

大手メディアがほとんど報道しようとしないうる新型コロナワクチン後遺症の影響を科学的に究明しようとする人物がいる。医師、後遺症患者、遺族、そして当時のワクチン推進派など。

様々な立場の意見を多角的に見ることで「もう一つの違う現実」が見えてくる。

2025年10月より全国上映。北海道内は札幌・苫小牧・函館の上映で、観たくても観られなかった方が多数います。

本別町の

藤沢明德医師（ほんべつ循環器内科クリニック院長）が出演。

上映後には藤沢医師によるトークタイムもあります。

■ 繰り返してはならない薬害の歴史

同じ過ちを、
繰り返さないために。

- ▶ 水俣病——被害認定まで12年以上
- ▶ サリドマイド——欧州から3年遅れの販売停止
- ▶ 薬害エイズ——知りながら放置された死
- ▶ 新型コロナワクチン——被害は今も進行中

そのたびに被害が認められるまでには長い年月がかかり、被害者は声を上げることさえ困難でした。

だからこそ今、私たちが知り、考える機会を得ることに意味があります。

まず知ること。そして、考えること。

映画「ヒポクラテスの盲点」より

未来に向かうために。同じ過ちを起こさないために。



まず、**知ること**から始めましょう。

あなたの参加が、地域の声になります